



学校だより

令和7年9月30日
広島市立戸坂小学校
第6号

秋晴れのさわやかな季節となりました。来月に行う運動会に向けて、少しずつ練習に取り組み始めたところです。安全に気付けて、子どもたちが運動会本番で力を出し切れるよう、指導していきます。

全国学力・学習状況調査

4月に6年生を対象に行った全国学力・学習状況調査の結果についてお知らせします。結果を基に今後の指導の工夫改善等について裏面に載せていますのでご一読ください。低学年から基礎を積み上げていけるよう、指導を続けていきます。

国語				算数				理科			
国	県	市	学校	国	県	市	学校	国	県	市	学校
66.8	69	69	66	58	59	59	56	57.1	59	59	59

体験的な学習・出前授業

3年生は、校外学習でスーパーマーケットの見学に行きました。売り場の工夫を見付けたりお店の人にインタビューをしながら、スーパーマーケットの秘密を探りました。普段は入ることのできないバックヤードにも入らせていただき、実り多学習となりました。

6年生は、社会科、総合的な学習の一環として、城北学園の中川校長先生を講師にお招きして、SDGsに関する出前授業を行いました。体験活動を通して、持続可能な社会となるために必要なことを学びました。

あいさつキラキラウィークス（あいさつ運動）

9月17日（水）から20日（金）まで、各学年（1～6年生）ごとに正門・緑門・南校舎靴箱前に立って、あいさつをす「あいさつキラキラウィークス（あいさつ運動）」を行いました。

担当日の朝、張り切ってあいさつをしていました。本校では、「進んであいさつをする」に取り組んでおり、今回のあいさつ運動を通して、進んで気持ちのよいあいさつをする子どもが増えてきています。

個人懇談会

10月14日（火）からは後期が始まります。前期の振り返りと後期に向けて、保護者の方と連携を図るため、10月8日（水）、9日（木）、10日（金）に個人懇談会を行います。お子さまのこれまでの学習の頑張りや学校生活の様子などについてお話をさせていただきます。短い時間ですが、予定通り進行できるよう、ご理解・ご協力をお願いいたします。

◇ご家庭での確認をお願いします！（お子様がトラブルに巻き込まれないために）◇

最近、おごり（おごられ）、お金や玩具の貸し借り、カードやゲームの交換などによるトラブルが多発しています。これらのほとんどが保護者への相談なく子ども自身の判断によって行われ、エスカレートしていくうちにトラブルに発展したものです。子ども達からの相談で発覚し、関係児童からの聞き取りを行い指導するとともに、聞き取った内容を保護者にお伝えをしております。併せて、学校では、保護者を買ってもらったものやお小遣いは、子ども達に与えられたものではありませんが、保護者が働いて稼いだお金が原資であることから、保護者の許可なく子どもの判断で、おごり、貸し借り、交換等は行ってはいけません。このことを指導しています。

今一度、ご家庭におかれましても、お子様が持たれているお金や物品の扱いについてルールを決め、お子様がトラブルに巻き込まれないように金品の扱いについてご確認をお願いいたします。

6 年生保護者の皆様へ

広島市立戸坂小学校
校長 山岡 静樹

令和 7 年度「全国学力・学習状況調査」結果について

秋冷の候、保護者の皆様にはますますご健勝のことと存じます。平素は、本校教育に対して温かいご理解とご支援をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、全国学力・学習状況調査は、全国的な児童の学力や学習状況を把握・分析し、学校における児童への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てるために、実施しています。

本年度も、4月17日（木）18日（金）に、6年生を対象に実施し、その調査結果が国より返却されましたので、本校でも結果を基に、課題を明確にして今後の指導に反映していきたいと思っています。ご家庭におかれましても、学力の向上や学習状況の改善に向けた今後の指導についてご支援・ご協力をお願いします。

【 国語科 】

	本校平均	広島県平均	全国平均
教科全体	66	69	66.8

○ 調査の結果と今後の指導

「言葉の特徴や使い方に関する事項」「書くこと」に関する内容については、概ね理解できていました。一方で、「情報の扱い方に関する事項」「話すこと・聞くこと」「読むこと」に関する設問での正答率が低い傾向にありました。

「情報の扱い方に関する事項」の領域においては、情報と情報とを関係付けたり話し合いの内容をキーワードや記号で整理した図を読み取ったりすることに課題が見られました。複数の情報から必要な語句を読み取ったり、他者から聞いた内容を自分の言葉で書き表し整理したりする活動を適時、授業に取り入れていきます。

「話すこと・聞くこと」の領域においては、話し合いの内容から集めた材料を分類したり関係付けたりしながら伝えることに、課題が見られました。話し合い活動を積極的に設定し、相手の考えや想いを想像しながら話を聞いたり、聞いた内容をもとに自分が伝えたいことを考えたりすることができるよう指導していきます。

「読むこと」の領域においては、文章と図表などを結び付けながら必要な情報を見付けることに課題が見られました。説明文の学習において、筆者の主張の理由や根拠を、様々な資料に注目して読み取ることができるよう指導していきます。

【 算数科 】

	本校平均	広島県平均	全国平均
教科全体	56	59	58.0

○ 調査の結果と今後の指導

「数と計算」「図形」の領域においては、正答率は全国平均並みであり、特に、異分母の分数の計算や図形の作図の仕方に関する問題についてはよく理解できていました。一方で、「測定」「変化と関係」「データの活用」の領域においては、正答率が全国平均と比べてかなり下回っている傾向にありました。

「測定」の領域においては、はかりの目盛りの読み取りに課題が見られました。長さや重さなど量を測定する際には、はかりやものさしなどの具体物を使って、多くの児童が実感を持った体験活動ができるよう指導していきます。

「変化と関係」の領域においては、グラフに表されている情報を、適切に読み取ることに課題が見られました。課題や目的に応じて式や言葉、表などを関連させて考え、答えの根拠となる情報を、グラフから適切に読み取ることができるよう指導していきます。

「データの活用」の領域においては、割合と倍との関係性についての理解に課題が見られました。割合が関係する学習において、基準量と比較量、倍との関係について理解し、問題文に表されている数字を整理し、適切に処理できるように指導していきます。

また、算数科全体の学習において、ペアやグループ等での集団解決の場面を授業の中に取り入れ、考えを伝え合ったり、考えを整理して問題を解決したりしていくことができる力を身につけていきます。

【 理科 】

	本校平均	広島県平均	全国平均
教科全体	59	59	57.1

○ 調査の結果と今後の指導

「粒子」「地球」を柱とする領域においては、正答率は全国平均を上回っており、特に、水の性質についての問題や変える条件や変えない条件を整理し実験方法を考える問題では、正しく回答することができている児童が多かったです。一方で、「エネルギー」「生命」を柱とする領域においては、知識や技能を問う問題で、正答率が全国平均と比べ

てかなり下回っていました。

「エネルギー」を柱とする領域においては、乾電池を使い電磁石を強くする回路の条件についての理解に課題が見られました。また、「生命」を柱とする領域においては、顕微鏡の操作方法についての理解に課題が見られました。実験や観察などの実感を伴った体験活動を丁寧に行ったり、映像などの視覚的教材を積極的に活用したりするなどして、基礎的な知識の定着を図るように指導していきます。

【児童質問紙】

この調査は、生活や学習について 77 の設問によって調査したものです。その中から顕著なものを取り上げます。
(よくあてはまる・ややあてはまるの割合 %)

質 問	本校	全国平均
将来の夢や目標をもっていますか。	77.9	83.1
自分には、よいところがあると思いますか。	84.7	86.9
自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。	85.6	78.1
友達関係に満足していますか。	94.9	91.7
分からないことやよくわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。	74.6	81.7
5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。	75.5	80.3
国語の勉強は好きですか。	66.2	58.3
算数の勉強は好きですか。	56.7	57.9
理科の勉強は好きですか。	75.4	80.1
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。		
(塾・家庭教師・インターネットを含む)		
全くしない	6.8	5.7
30分より少ない（未満）	11.0	12.9
30分～1時間未満	29.7	27.4
1時間～2時間未満	23.7	29.1
2時間～3時間未満	8.5	12.8
3時間以上	20.3	12.1

本校の児童は、「友達関係に満足していますか。」という項目において、95%近くの児童が肯定的な回答をしています。一方で、「将来の夢や目標をもっていますか。」「自分には、よいところがあると思いますか。」という項目は、肯定的な回答が全国平均を下回っていました。総合的な学習の時間や道徳科の時間を中心にキャリア教育の充実を図ったり、友達との関わり合いを大切に活動を通して、自分や友達のよさに気づき互いに認め合うなど、自己肯定感や自己有用感を育むことができるような指導をしたりしていきます。

教科や学習意欲に関する調査では、国語科は、勉強が好きだと回答する児童の割合が全国平均を上回っていました。また「自分とちがう意見について考えるのは楽しいと思いますか。」という項目においては、85%以上の児童が肯定的な回答をしています。しかし、算数科・理科については、勉強が好きだと回答する児童の割合が、共に全国平均を下回っていました。また、「分からないことやよくわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。」「5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。」という項目においては、肯定的な回答をした児童の割合が全国平均を大きく下回っています。引き続き、各教科の学習課題の解決に向けて、自ら考え取り組んでいけるように授業改善を重ねたり、協同的な学習や一人一人の「わかった」「できた」という気持ちを大切に学習を仕組んだりすることで、勉強が楽しいと感じたり、好きだと思ったりする児童を増やしていきます。

学習習慣に関する調査では、普段、1日当たりの勉強時間が1時間未満（より少ない）の児童が5割近くいました。また、休日に全く学習をしない児童の割合が約3割でした。このことから、学習習慣が定着していない児童が一定数いることが分かります。戸坂小学校では、6年生での家庭学習の時間を60分（1時間）に設定しています。普段から1日1時間以上の学習習慣が定着していくことで、基礎学力も身に付いていくと考えます。宿題が終わっても取り組めるような課題を準備したり、自主学習の取り組み方について指導をしたりしていきます。また、タブレットを積極的に活用した家庭でも意欲的に取り組める課題の設定についても、積極的に行い学習習慣の定着を図っていきます。